

普及だより



【写真説明】左上：新規就農者研修（基礎コース）
左下：砂地種ショウガ収量調査

右上：「匠の技 伝道師」による研修会
右下：「植美」の貯蔵試験

皆様におかれましては、協同農業普及事業の推進にご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

新型コロナウイルスのパンデミックや最近ではウクライナ情勢が緊迫する中、世界的に社会や経済に大きな影響が出ています。日本でもリモートワークやネット通販などが拡大する一方、燃料や資材、食品など様々な物資の価格が上昇しており、農業分野においても大きな影響が出ています。この流れは今後も続いていくのでは懸念するところで、私たちも早急な対応を迫られていると感じています。

この中で、燃料や資材の高騰は農家所得を減少させる大きな問題です。コストの削減にも限界があり、他産業のように販売価格を決定できない農業では、大変苦しい農業経営を強いられ、農家数の減少、ひいては国産農産物の供給に影響が出るのではと心配しています。私はこのことをもっと消費者や実需者に伝えて農業への理解を深めてもらい、方法はいろいろ考えられますが農業者を支援する仕組みづくりが必要ではと思います。このことは農業に限らず、一次産業である水産業にも同様に言えることです。

さて、最近「DX（デジタルトランスフォーメーション）」という言葉をよく聞きます。デジタル化の推進により社会をより良く革新していくということだそうです。農業や農村振興にもデジタル化の取組は大きなチャンスになるかもしれません。すでに施設の環境制御技術や農業機械の自動化、ネット販売や情報発信・分析などさまざまなところでデジタル化が急速に進んでいます。「高品質な農産物を生産し、高単価で販売する」この課題にデジタル化で対応できる技術があるのでは考えています。なんだか難しいそうに思うかもしれませんが一度研究してみませんか？県でもスマート農業塾やさまざまな研修会なども実施していますので一度参加してみてください。

今後も農業者の意見をお聞きしながら、関係機関の皆様とも連携して地域農業の課題解決に向けて職員一同、鋭意取り組んでまいりますのでご協力よろしくお願い申し上げます。

<海草振興局 農業水産振興課長 宮向克則>

《 普及指導計画の取組経過 》

【重点課題】次世代につなぐ下津みかん産地活性化プロジェクト

➤ 令和3年度から新たに取り組んでいる普及重点課題「次世代につなぐ下津みかん産地プロジェクト」の主な活動実績について紹介します。

(1) 新規就農者の確保及びサポート体制強化

下津地域において新規就農者を安定して確保できるよう、産地受入協議会設立の必要性について関係機関で意識統一を図りました。また、優れた栽培技術を持つ「匠の技」伝道師による研修会等を開催することで、若手農業者を中心に温州みかんの連年多収、高品質生産技術の普及を図りました。

(2) 新品種「植美」の導入

JAながみねと連携して「植美」の果実品質及び貯蔵性調査を実施し、主力品種である林温州と比較して、糖度、酸度ともに同程度で、浮皮程度が低いことを確認しました。また、農業士会員やJAながみね下津柑橘部会員等に「植美」の特性を説明し、新規導入を呼びかけた結果、新たに7戸で0.5haが導入されました。

(3) 省力化施設及び機械の導入推進

農作業省力化やスマート農機等に関する研修会を開催するとともに、農業者に補助事業を活用した施設整備や農機の導入を推進しました。その結果、農業士等が補助事業を活用して、スマート農機（ねこ車電動化キット「E-Cat Kit」）を16台導入しました。

(4) 守るべき農地の明確化と担い手への農地流動化

下津地域内における農地の耕作状況等を把握するため、関係機関と一体となって農地巡回調査を実施し、その結果を参考に2地区の「守るべき園地マップ」を作成しました。また、JAながみね下津柑橘部会員を対象に農地貸借に関するアンケート調査を実施し、部会員の農地流動化に対する意向を把握しました。

今後も、下津みかん産地を次世代につないでいくため、産地や農業者のニーズに沿ったきめ細かな普及活動に関係機関と一体となって展開していきます。



「匠の技」伝道師による研修会



「植美」果実品質調査



スマート農機研修会

《 スマート農業について 》

スマート農業技術の現場導入を加速化させるため、スマート農業フェアや生産現場での実演会に、スマート農業実践塾（施設園芸コース、果樹コース）を開催しています。

令和3年度の開催概要

<施設園芸コース>

令和3年8月から令和4年2月にかけて、各試験場において、施設環境制御の専門家による実践的な座学に加え、現地での実演指導が行われた。
講師：株式会社デルフィージャパン 麻生英文 氏

<果樹コース>

メーカーから講師を迎え、リモコン式草刈り機（スマート農機）やアシストスーツの操作講習を実施。

【海草：9月30日（木）下津地区で実施】



果樹コースでの講習

※ 令和4年度も実施します。詳細は県のHP等でお知らせします。

《農林水産業賞受賞おめでとうございます》



宮尾 修司 氏 (海南市)

温州みかんを中心とした果樹経営を行い、当該地域では早くから園内道を整備し規模拡大と優良系統を導入して経営の安定化を図るとともに、地域の出荷組合において販売促進にも積極的に取り組み、売上の向上に尽力されました。また、和海地方農業士会会長を歴任するなど農業士会活動等を通じて地域活性化に貢献されました。



吉本 久美 氏 (和歌山市)

ぶどうや柑橘、うめの複合経営を行い、対面販売や宅配のほか収穫体験など消費者との交流活動を行うとともに、小学生を対象とした出前授業等の食育活動や農業技術の向上に取り組みられました。また、和歌山県農業士会連絡協議会副会長を務めるなど、地域農業の中核的な存在として、地域活性化に尽力されました。

《クビアカツヤカミキリに注意！》

もも・うめ・すもも・さくらなどの樹を食害します！

クビアカツヤカミキリは、県内では岩出市、紀の川市、かつらぎ町、橋本市のもも・うめ・すもも園地で被害が急激に拡大し、令和3年7月には和歌山市でも確認されています。

成虫は5月下旬～8月頃に発生し、もも・うめ等バラ科樹木の樹皮表面や割れ目などに産卵します。卵は10日前後で孵化し、幼虫は樹木の内部に食入します。繁殖力が非常に強く、発生すると幼虫の食害によって樹木が枯死し、大きな被害をもたらす恐れがあります。

クビアカツヤカミキリが加害した樹には、3月下旬～11月頃に、大量のフラス（木くず・幼虫の糞などが混じったもの）がミンチ状に排出され、枝の上部や株元に溜まっている様子がみられます。

もも・うめ・すももを栽培されている方は、畑をよく見回り、成虫・フラスを確認した場合は農業水産振興課までご連絡ください。



《庁舎の移転について》

令和4年3月14日（月）より、海草振興局農林水産振興部は南別館から第2南別館へ移転しました。御用の方は、第2南別館3階へお越しく下さい。

なお、住所・電話番号に変更はありません。

お車でお越しの場合は、第2南別館前の駐車場がご利用できますので、駐車券をお持ちください。



果樹・野菜・花きの県単独事業紹介

【日本一の果樹産地づくり事業】

▶ 国内外のニーズに対応するため、戦略品種の早期産地化や輸出産地の育成、生産対策を総合的に支援します。

対策	事業内容	補助率
戦略品種の早期産地化	戦略品種への改植・高接 (みかん)－YN26、ゆら早生、田口早生、きゅうき、植美 (かき)－紀州てまり (もも)－さくひめ、つきあかり (うめ)－NK14、橙高、露茜、翠香、星秀 拡充 ぶどうさんしょう、じゃばら	1/2 以内
	スマート農機等の新技術・新機器導入、小規模園地整備、ハウスの高度化、マルチ・節水型かん水施設等の高品質につながる機械施設 等	1/3 以内
輸出の促進	輸出産地への改植・高接 拡充 みかん(宮川早生)「同一品種への改植」	1/2 以内
	防風ネット、農薬ドリフト防止ネット、輸出検疫対応施設、冷蔵・冷凍施設 等	1/3 以内
生産対策の強化	スマート農機等の新技術・新機器導入、小規模園地整備、ハウスの高度化 マルチ・節水型かん水施設等の高品質につながる機械施設、集出荷貯蔵施設等	1/3 以内
推進事業	機能性などの調査研究PR、実証ほの設置、栽培技術研修会の開催 等	1/2 以内

【次世代野菜花き産地パワーアップ事業】

▶ 高度な環境制御装置等ICT技術の導入や高度化ハウスの整備など、生産から流通、販売まで総合的に支援します。

対策	事業内容	補助率
生産性の向上	ICT等の新技術を使った機械設備の導入(環境制御装置、農業用ドローン、炭酸ガス発生装置等)、省力化機械導入(播種機、定植機、収穫機 等) 高品質化につながる機械設備(高設栽培装置、自動換気装置、養液栽培装置、遮熱ネット等)、集出荷貯蔵施設(予冷・冷蔵庫、選別機、袋詰機 等)	1/3 以内
施設園芸の拡大	ハウスの高度化(耐風性ハウス、耐暑性ハウス 等) 拡充 環境制御装置の導入※1と同時に、補強によるハウスの高度を行う場合、高度化に係る補助率を引き上げ ※1 複合環境制御盤を用いて、温度、日射、炭酸ガス濃度等3項目以上の環境要因をセンサーでの測定値に基づき、より光合成に適した生育環境へと自動制御する場合に限る。	1/3 以内 拡充部分 1/2 以内
	育苗施設 等	1/3 以内
推進事業	通いコンテナリース、研修会開催、新戦略商品の開発 等	1/2 以内

<事業主体> JA、出荷団体、協議会、農業者 等

※ 予算の都合上、ご要望に添えない場合があります。詳細は海草振興局農業水産振興課までお問い合わせください。

令和4年度人事異動による転出入について

転 出			転 入		
旧職名	氏名	新職名	旧職名	氏名	新職名
主任 (総務・振興GL)	林 孝史	日高振興局 農林水産振興部 主任	有田振興局 農林水産振興部 主任	萩平 淳也	主任
主任 (普及GL)	川村 和史	県農業試験場 主任研究員	西牟婁振興局 農林水産振興部 主任	石川 義光	主任
主任	藪野 純子	県農林大学校 准教授	農林水産政策局 食品流通課 主査	千賀 泰斗	主査
主査	嶋田 勝友	農業生産局 果樹園芸課 主任	那賀振興局 農林水産振興部 主査	今井 幸子	主査
技師	田端 佑哉	農業生産局 経営支援課 技師	海草振興局 地域振興部 技師	新川 瑠梨	副主査

若手職員紹介

令和3年度新規採用の向井と申します。主に水稻、環境保全型農業、紀美野町に関する業務を担当しております。農業者の皆様をはじめ多くの方々の協力を得ながら仕事をさせていただいております。まだまだ未熟ですが皆様のお役に立てるよう努力いたしますので、よろしくお願いたします。

